www.bocaboca.co.kr

BocaBoca

COFFEE BEAN ROASTER

取扱説明書

イレPLUS

Boca Boca

COFFEE BEAN ROASTER

ハンドロースティングの微調整ができるコーヒーロースター

プログラムされた
ロースティングではなく、
バリスタの腕を
実現できる
唯一の製品です。

豆の芯から焙煎される**遠赤外線**方式です。

細かな**温度の調節**で思いのままの焙煎ステージにすることができます。

タイマー機能(15min)

無騒音に近い設計で鮮明なポップ音を聴取

透明ガラスで**焙煎過程の確認が簡単**

場所を選ばない**デザイン性**

特殊設計された撹拌翼で**豆を均等に焙煎**

空気口の調節で**豆の香りを自由に調節**

耐久性のある**耐熱ガラス**を使用

かんたん**焙煎桶を分離**

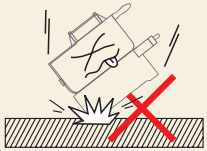
一度に250gまで焙煎することができる**大容量**

既存のコーヒーロースター機の中で最も**効率的な電力消費量**

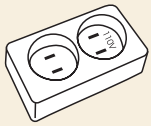
高性能ファンを**使用して、急速冷却**

冷却時の特殊設計されたざるで**チャフが分離**

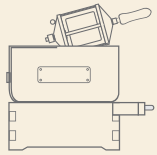
遠赤外線ヒーターの長い**耐久性**(約2万回の焙煎が可能)



製品に強い衝撃を加えたり、高いところから落とさないでください！製品の故障及び事故の原因になる可能性があります。

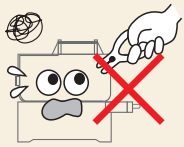


必ずアース端子がある定格電流以上の交流100-110V専用のコンセントを使ってください。一つのコンセントに複数の製品を同時に使わないでください。発熱や発火、感電の原因になります！

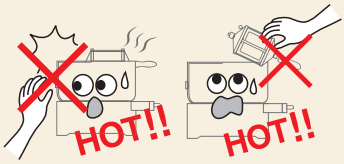


焙煎桶を本体から分離した場合には、必ず専用の置き場に安全に固定して保管してください！

焙煎を強く長くしますと、コーヒー豆から出る油分が原因となり、火災が発生することがありますので、ご注意ください。

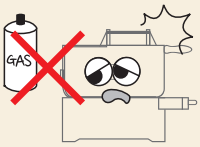


修理技術者以外の人が分解したり修理・改造しないでください。
故障、火災、感電の原因になります。修理技術者以外のスペースを削除解したり、修理、改造しますと、保証期間内でも無償修理サービスを受けることができません。



焙煎する途中や焙煎を終えた後は、焙煎桶及び本体の金属部分は非常に熱いので火傷の危険があります。絶対に触らないでください。

電源コードを強引に曲げたり、束ねた、っ張ったりしないでください。
感電や火災の原因になることがあります。
濡れた手で電源プラグを触ると感電の危険があるのでご注意ください。使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください！劣化による感電、漏電、火災の原因になります。



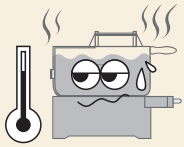
製品の周辺にガス、ベンジン、シンナー、アルコール類などの可燃性物質を置かないでください。爆発や火災の危険があります。

製品使用時の**注意事項**

※焙煎時は、常に製品のそばから離れないでください。
豆が焦げた際は、通常より激しい煙が発生し火災の危険性があり得ます。

※焙煎後は、製品を十分に冷ました後、本体内部を清掃してください。

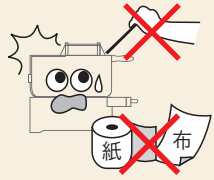
直射日光や高温多湿になる場所でご使用になりますと、製品が故障する場合があります。



使用後は製品を十分に冷ましてからのご使用をお願い致します。
モーターの原因になることがあります。
※ 過熱防止温度センサーがあり、製品が過熱されると、遠赤外線ランプが自動オフされます。製品を十分に冷やしてからご使用ください。

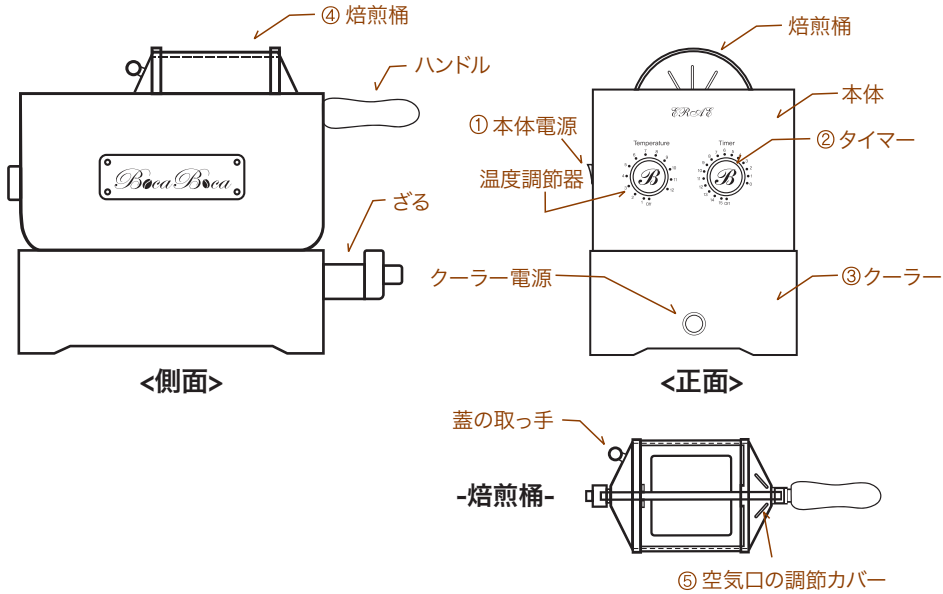
布団類、電気カーペットなどの上で使用する場合、火災や故障の原因
になりますのでご注意ください！
焙煎桶　の温度が非常に高く火傷や発火の危険がありますので、 焙煎桶　を素手で触ったり近くに可燃物を置かないでください。

製品に水が入ると故障や漏電、感電の危険がありますので、水が入らないよう注意し、万が一、入った場合は、十分に乾燥させた後、ご使用ください。
流し台、浴室など、水が入る可能性がある場所及び湿度の高いところ場所ではご使用にならないでください。



製品の内部に金属棒などの異物を絶対に入れないでください！
(特に、お子様の手が触れないようご注意ください)
感電や事故の原因になります。 焙煎桶が回転する際に、異物(布、紙、指など)が巻き込まれる事故が発生した場合、すぐに電源ボタンを押し回転を止め、異物を取り除いてください！

製品の詳細図



本体の説明

① 電源と温度調節器

電源をオンにして遠赤外線の温度強弱を調節することができる装置です。
（本体モーターの電源と接続されています）

② タイマー

連続または最大15分まで設定できます。（タイマーをオンしないとランプが点灯しません。）

③ クーラー

クーラーに付属するアダプターをクーラーの側面にある電源口に接続した後、
クーラーの電源ボタンを押すとクーラーが作動します。
クーラーにたまるチャフは定期的に清掃が必要です。

④ 焙煎桶

カバーはステンレス製でガラスは耐熱ガラスです。
焙煎桶は別途追加購入が可能です。

⑤ 空気口の調節カバー

焙煎桶を分解する際に、空気口のサイズを調整することができます。

⑥ ヒーター（本体内側）

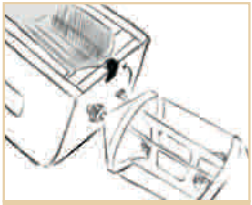
ヒーターは遠赤外線ランプです。
ヒーター側の突起は、ヒーターにガスを注入するための部分です。

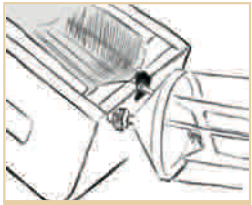
焙煎順

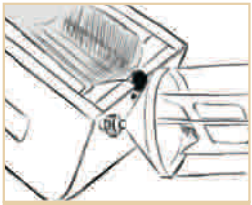
ステップ1 **予熱、生豆投入**	1、焙煎桶を本体から取り出し、焙煎桶のふた取っ手を引っ張りふたを外します。 2、焙煎桶を本体に固定した後、温度調節器を回し1、2段階に合わせ、タイマーを5分程度に調節、予熱します。 3、タイマーが停止したら、電源を切り焙煎桶を分離します。 4、紙コップ基準で一杯程度(約130g)の生豆を入れ、ふたを閉じます。 *この時、金属部分に手が触れないようご注意してください！非常に熱くなっています。
ステップ2 **タイマー、温度設定**	1、焙煎桶を本体に固定し、タイマーを15段階まで回します。 2、温度調節器を回し、12段階に合わせます。 ※希望の焙煎スタイルに合わせて温度を調節してください。
ステップ3 **1次ポッピングと休止期**	1、1次ポッピングが起きれば、温度調節器を2段階に合わせて温度を下げます。 2、1段階から約1分後に、12段階に合わせます。 ※1次ポッピング終了後、2次ポッピングの間に温度を下げることを休止期と呼びます。 3、2次ポッピングまで達するためには、もう少し焙煎を続けてください。
ステップ4 **ポイントのキャッチと排出**	1、希望する焙煎のポイントで温度調節器をオフにし、焙煎桶を分離します。 2、ざるを半分開きます。 3、焙煎桶の回転溝に 焙煎桶のふたの取っ手をかけ軽く引っ張るとふたが分離します。 ※下 < 焙煎桶のふたの外し方> を参照 4、焙煎桶をゆっくり回しながら豆を排出します。
ステップ5 **クーリング及びチャフの除去**	1、ざるをクーラーに入れてクーラーの前にある電源ボタンを押して、クーラーを作動させます。 ※この時、本体を持ち上げ、横に置いてクーリングをすると、さらに早く冷却されます。 2、ざるを前後に軽く振るとさらに早く冷却されます。 ※手で豆を軽くこするとチャフがより効率よく除去され、ざるの下にチャフが抜け、ネット上に溜まります。。 3、3分後、冷却が終わった後、ごみ箱にチャフをやさしく振り掃除してください。

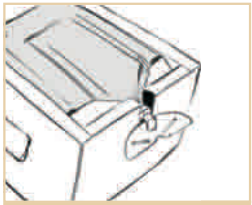
※焙煎桶を分解しながら、後部にある**空気口調節カバーで**空気口のサイズを調節することができます。

■ 焙煎後、排出する際の焙煎桶ふたの外し方


ふたの取っ手を


溝に入れて


焙煎桶を引くと


ふただけが分離されます。

焙煎の例

<コロンビアスリモ150gを2次ポップまで焙煎する場合>

	標準焙煎	クイック焙煎	簡単焙煎
予熱	ふたを外して 焙煎桶のみ本体に固定し、 タイマーを5分に合わせ、 予熱します。	ふたを外して 焙煎桶のみ本体に固定し、 タイマーを5分に合わせ、 予熱します。	無し
生豆投入	タイマーが停止したら 焙煎桶を分離し 豆を投入しふたを 閉じます。焙煎桶を本体に 固定した後、 温度を12段階に上げます。	タイマーが停止したら 焙煎桶を分離し 豆を投入してふたを 閉じます。焙煎桶を本体に 固定した後、 温度を12段階に上げます。	最初から 焙煎桶に生豆を入れ、 本体に固定した後、 温度を12段階で 焙煎します。
1次ポップ	1次ポップが 始まったら、 温度を下げ、 休止期を持ちます。	1次ポップが 始まっても 温度を下げません。	1次ポップが 始まっても 温度を下げません。
休止期	1分間温度を下げます。	無し	無し
再加熱	1分が経過したら 再び温度を上げます。	無し	無し
2次ポップ	2次ポップが始まったら 温度を下げます。	2次ポップが始まったら 温度を下げます。	2次ポップが始まったら 温度を下げます。
余熱で焙煎	温度を下げた状態で 豆の色を確認しながら 希望したポイントに 排出します。	温度を下げた状態で 豆の色を確認しながら 希望したポイントに 排出します。	温度を下げた状態で 豆の色を確認しながら 希望したポイントに 排出します。

＊これは、一例です。様々な方法で自分だけの焙煎レシピを作成してみてください。

Declaration of Conformity

We herewith declare

Manufacturer: ERAEPLUS

(Address: Daedeok-ro 1000-gil, Daedeok-gu, Daejeon, Republic of Korea)

Declare on our sole responsibility that the product

Product: Coffee Roaster
Model(s): BOCABOCA 250

To which this declaration relates is in conformity with the following standards or other normative documents

Harmonized standard: IEC 60335-2-9 2008 +A1 2012
IEC 60335-1 2010 + A1 2013
CISPR 14-1 2005 A1+A2 2011

Detailed specification of the tested product shown in the following test reports

We herewith declare

Safety Test Report: SR 17-0144
EMI Test Report: STD-PSE-17011

Date: Apr. 3, 2017

Signature

PS
E

Sona Jona C.E.O. / President